

平成24年度 生駒市環境マネジメントシステム 独自目標一覧

部門	目的	項目	平成 24 年度目標	
エコアクション部門	地球温暖化の防止	二酸化炭素排出量の削減 (1-1)	市の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量の総量を平成 23 年度比で 1.6%以上削減する。 (254t-CO ₂ 相当)	
		電気使用量の削減 (1-1)	電気使用量を平成 23 年度比で 1.7%以上削減する。 (657 千 kWh 相当)	
		公用車	ガソリン (1-10)	ガソリン使用量を平成 23 年度比で 2.5%以上削減する。 (2,073l 相当)
			軽油 (1-10)	軽油使用量を平成 23 年度比で 2.5%以上削減する。 (1,202l 相当)
		燃料	都市ガス (1-1)	都市ガス使用量を平成 23 年度比で 1.6%以上削減する。 (3,280kg 相当)
			重油 (1-1)	重油使用量を平成 23 年度比で増加させない。
			灯油 (1-1)	灯油使用量を平成 23 年度比で増加させない。
			L P G (1-1)	LPG 使用量を平成 23 年度比で 1.6%以上削減する。 (854kg 相当)
	循環型社会の構築	紙類使用量 (1-3)	OA 用紙の使用量を平成 23 年度比で増加させない。	
		ごみ排出量 (1-4)	ごみの排出量を平成 23 年度比で 3.1%以上削減する。 (1,640kg 相当)	
	健全な水循環	水使用量 (1-2)	水使用量を平成 23 年度比で増加させない。	
	環境基本計画の重点プロジェクトの推進	「取り戻そう子どもが願う竜田川」 (2-3)	ECO-net 生駒により、竜田川いいとこさがしツアーを年に 1 回実施します。	
			竜田川本流の水質測定結果について、観測地点 4 地点のうち 1 地点で、BOD の年間平均値を 5mg/l 以下とします。	
		「環境にやさしい売り方・買い方を推進する生駒」 (2-5)	ECO-net 生駒により、「環境にやさしい売り方・買い方」に関する意見交換会を年に 2 回開催します。	
			家庭系ごみを平成 23 年度比で 51t 以上削減します。	
再資源化率を 18.7%（平成 23 年度）から、22.5%に向上します。				
「みんなでつくる緑潤うまち」 (2-1)		事業系ごみを平成 23 年度比で 115t 以上削減します。		
「太陽光発電応援団」 (2-1)	ECO-net 生駒により、みどりのカーテンコンテストを年に 1 回開催します。			
「太陽光発電応援団」 (2-1)	ECO-net 生駒により、太陽光発電講演会を年に 1 回開催します。			

エコマネジ メント 部門	推進本部の点検評価回数 (1-22)	環境マネジメントシステムの進捗状況を環境マネジメントシステム推進本部で年2回以上点検評価します。 ※7月頃：前年度の取組結果を踏まえた点検評価
	環境施策研修の実施回数 (1-21)	環境マネジメントシステムやその他環境に関する研修を年4回以上実施します。
	環境特性の把握に関する数値目標 (2-13)	地域の環境特性（大気、水質等）及び二酸化炭素排出量を年に1回とりまとめ、課題を明らかにします。
	環境基本計画の重点プロジェクトの進捗に関する数値目標 (2-16)	環境基本計画の重点プロジェクトの進捗状況を年に1回以上照会し、推進本部で点検評価します。
エコガバ ナンス 部門	情報公開に関する数値目標 (1-25)	環境情報を広報やホームページで年18回以上提供します。
	環境施策への市民参画に関する数値目標 (2-24)	ECO-net 生駒により、環境に配慮する市民やリーダーを育成するための養成講座を年に1回開催します。
		環境に関するイベントを市民と協働して年12回以上開催します。
		生駒市又はECO-net 生駒が開催するイベントに生駒市民の総人口の10分の1（12,096人相当）に参加していただきます。
	環境施策への市民参画に関する数値目標 (2-28)	環境をテーマにした市民との意見交換会を年に1回以上開催します。
パートナーシップ組織の環境活動内容の把握に関する数値目標 (3-23)	ECO-net 生駒の環境活動内容について、年に1回とりまとめ、「生駒市の環境」で公開します。	

※家庭系ごみ、再資源化率及び事業系ごみの目標設定は、ごみ半減プランに基づきます。

※各項目の（ ）内に記載した番号は、環境マネジメントシステムハンドブック30ページ～32ページにある、LAS-E実施項目の項目NOと対応しています。

※平成24年度からは、地域全体の環境政策の実施や事業活動における環境配慮を目的とする第2ステージの取り組みを開始することに伴い、エコアクション部門に「環境基本計画の重点プロジェクトの推進」に関する目標、エコマネジメント部門では環境基本計画の進捗に関する目標、エコガバナンス部門では市民参画に関する目標をそれぞれ追加しています。